

大学マイペース制の提案

xxxxxxx 山手大介

私は大学に対して「マイペース制」の導入を提案する。

マイペース制とは、在学年限を撤廃することである。4年以上8年以下という在学年限を撤廃することで、授業に集中して2年くらいで卒業したり、逆に会社勤めしながら10年以上かけて卒業したりすることを可能にするのである。また、そうした学び方にあわせて学費も年定額ではなく、履修した授業の数だけ払う従量制に変える。

私がマイペース制の導入を主張するのは、以下三つの理由からである。

第一に、奨学金問題の解消につながるからである。最近「親には学費を頼れない、しかしバイトを入れすぎると年限内に卒業できなくなる」ということで、返済困難なほどの奨学金を借りてしまう若者が問題化している。だが在学年限さえなければ、借金を作らず、自力で稼げる範囲内で少しずつ授業を取って卒業することも可能になる。

第二に、授業環境の改善につながるからである。学費が従量制になれば、学生・教員双方に「代価を払って授業を受けている」「代価を受け取って授業をしている」という事実が改めて意識されるだろう。教室に、いい意味での緊張感が生まれるはずだ。

第三に、新卒至上主義を解体できるからである。新卒者だけに採用をしぼる新卒至上主義は、大学生の就活を激化させ、またフリーターからの正社員採用や、ブラック企業からの転職を困難にしてきた悪習である。しかしマイペース制の下では、在学中に就職することも、就職できるまで在学することも普通におこなわれるため、「新卒者」という枠組ごと、新卒至上主義が成り立たなくなる。

以上三つの理由から、私は大学に対してマイペース制の導入を提案する。